別記様式（第一条関係）

※　請求者欄にご記入いただいた個人情報及び口座情報は、
旅費等の振込手続以外には使用しません。

裁判所受領印

※　請求期限は訴訟手続が終了した日の翌日から30日以内です。

被害者参加旅費等請求書

令和＿＿年＿＿月＿＿日

法務大臣　殿
（日本司法支援センター扱い）

請求者

フリガナ
氏名（自署）＿＿＿＿＿＿＿＿

大・昭
平・令
／西暦　　年　　月　　日生

☐ 前回請求時と同一のため、電話の記載を省略する。

電話＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿自宅・携帯・その他（　　）

※　裁判所又は日本司法支援センター（法テラス）からご連絡をさせていただく場合があります。

現住所　〒　　-　　☐ 前回請求時と同一のため、現住所の記載を省略する。

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

送金通知書の送付先　（現住所と異なる場合のみ）　☐ 前回請求時と同一のため、送付先の記載を省略する。
〒　　-

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

振込口座　☐ 前回請求時と同一のため、振込口座の記載を省略する。

金融機関名＿＿＿＿＿＿　支店名＿＿＿＿＿＿　出張所　支店

口座番号　当座　普通＿＿＿＿＿＿　口座名義（カナ）＿＿＿＿＿＿

☐ 口座名義人を代理人と定めて、以下に請求する旅費、日当及び宿泊料の受領に関する件を委任します。

以下のとおり被害者参加人として公判期日又は公判準備に出席したので、犯罪被害者等の権利利益の保護を図るための刑事手続に付随する措置に関する法律第６条第１項に基づき、旅費、日当及び宿泊料を請求します。

参加許可決定を受けた事件　　事件番号

＿＿＿＿裁判所＿＿＿＿支部　令和＿＿年　（＿＿＿）　第＿＿＿号

≪ 日帰り旅行記載用 ≫

※複数回の旅行が次の４項目全てに該当する場合、当欄への記入により複数回分の旅費等をまとめて請求することができます（１回分の請求も可）。
それ以外の場合は、「被害者参加旅費等請求書(続)」を使用してください。

① 日帰りである。

② 全て同じ出発地、同じ帰着地である。

③ 航空機を利用していない。

④ 特別な経路や交通手段（タクシー等）を利用していない。

出席した公判期日又は公判準備

＿＿月＿＿日、＿＿月＿＿日、
＿＿月＿＿日、＿＿月＿＿日、
＿＿月＿＿日、＿＿月＿＿日、
＿＿月＿＿日、＿＿月＿＿日

出発地（該当するものに☑）	**帰着地**（該当するものに☑）
☐ 現住所	☐ 現住所
☐ 現住所以外（勤務先等）	☐ 現住所以外（勤務先等）
（ 所在地： ）	（ 所在地： ）